

日本大学工科校友会

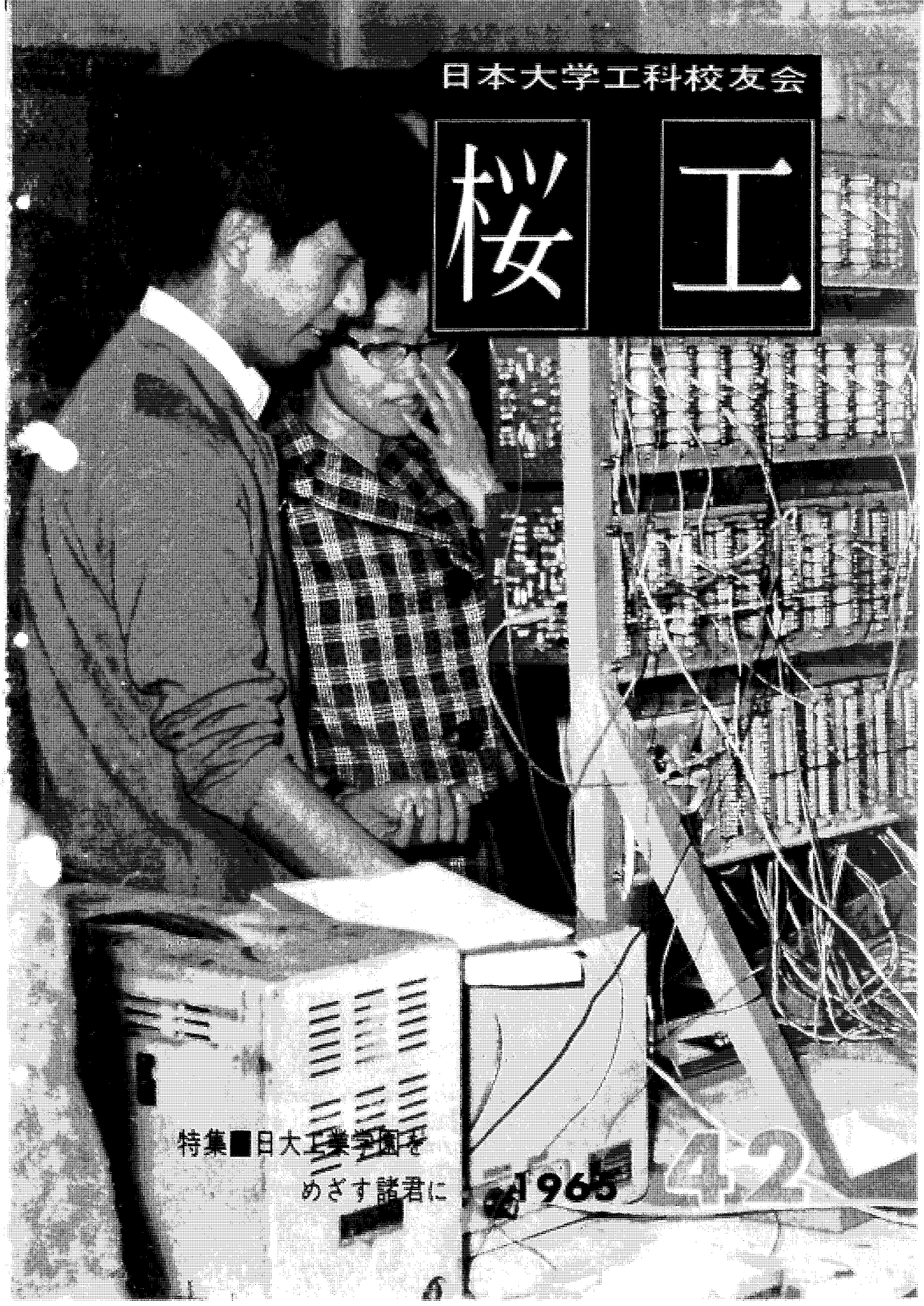
桜

工

特集 ■ 日大工業学園を
めざす諸君に

1965

42





若きエンジニア

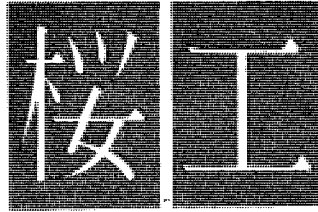


堀内敬三 作詞作曲

- 1 昭渙の日出づる国こそわが祖国
其の名をば担いて聳ゆわが母校
伸びゆく日本の力は茲に
地を拓き行く者若きエンジニア
- 2 青春に夢あり宇宙に真理あり
現実と理想を結ぶもの我等
科学の力と不屈の意志を
武器として進まん若きエンジニア

日本大学の目的 および使命

1. 日本大学は、日本精神にもとづき、道統をたつとび、憲章にしたがい、自主創造の気風をやしない、文化の進展をはかり、世界の平和と人類の福祉とに寄与することを目的とする。
2. 日本大学は、広く世界に知識をもとめて、深遠な学術を研究し、心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする。



日本大学
工科校友会誌
1965
VoL. 10
No. 42

■特集・理工学部をめざす諸君に……

- 理工学部について／横地伊三郎…………… 8
- 理工学部の沿革……9／校友と校友会……10／研究・同好会……15／二部と短大……16
- * 科の選択について…………… 8
- * 勉強はここに重点を…………… 9
- * こんな学生をのぞむ…………… 9
- * 理工学部の社会的地位…………… 9
- * 指導の特色と学風……………10
- * 就職・その後の動き……………10
- * その他の注意……………11

■先輩はこんなふうやってきた……………12

〈在学生のアンケートから〉

出身校／浪人・予備校の経験／受験勉強のしかた／数学・理科の受験科目選択／科の選択理由／2年以後苦労した学科／学費はいくらかかるか／生活費はいくらかかるか／アルバイトの経験／来春の志望者にいたいこと／その他の注意

■第一工学部

機械工学科…17／電気工学科…18／土木工学科…19／建築工学科…20／工業化学科…21／管理工学科…21／統計工学科…22

■第二工学部

概要…23／地理的環境…23／施設・設備関係…24／学寮・下宿について…24／東豊梯寮完成…24／一般教育…25／土木工学科…25／建築学科…25／機械工学科…26／電気工学科…26／工業化学科…26／就職は100%…31

- 昭和41年度試験日一らん表……………31
- 昭和41年度日本大学入試科目……………32
- 理工系学生の姿勢……………33

■日本大学理工学部の学術講演会ひろく……………34

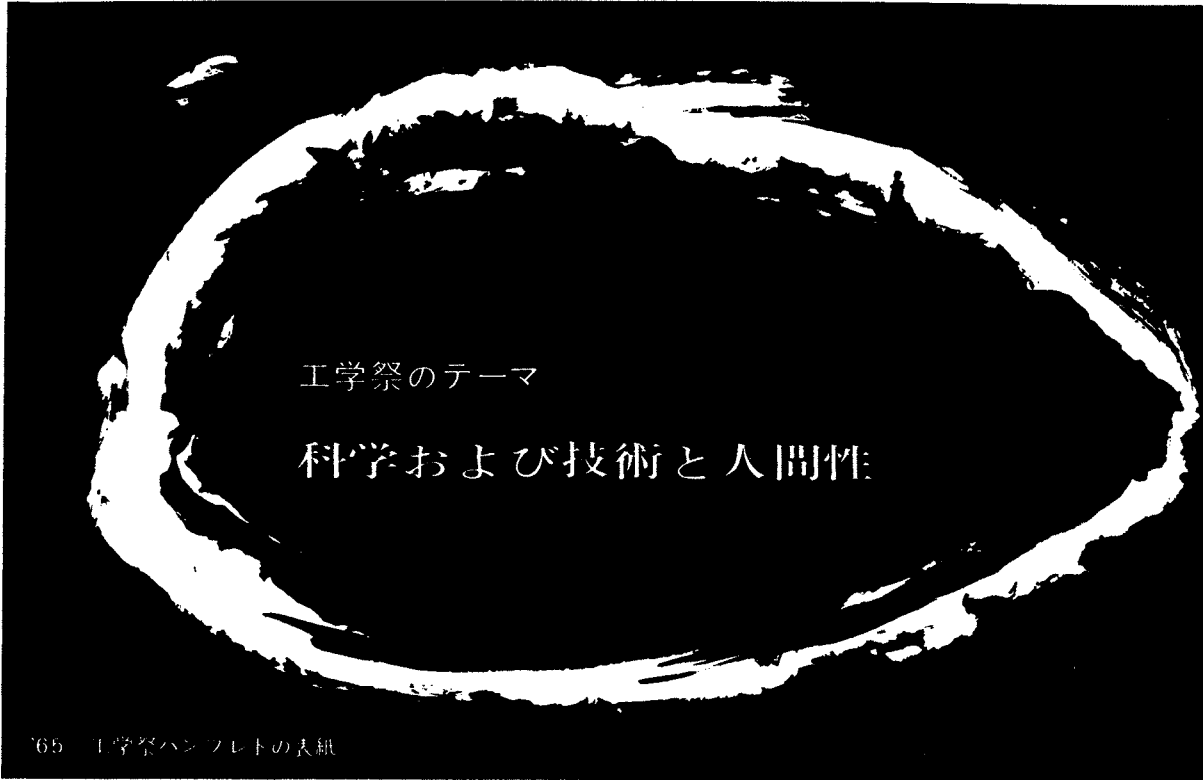
- 死の川を甦えらせた吾妻川総合開発事業
落合林吉……………34
- 欧米人の印象……………景山克三……………39

- 電気科の強歩大会…42 ■オレが学校を出たとき／下河原恒吉…43 ■オーコー・スコープ…44・49 ■雑記帳／下青木秀吉・S・S…50

- 支部だより／北海道支部で総会・国鉄校友会総会・千葉県で支部結成準備会・埼玉で土木科校友の総会 ■会合だより／昭九会で総会・第17回生クラス会・電気今川研出身者が会合 ■学友短信……………45

■グラビア 工学祭

'65 工学祭



'65 工学祭ハンフレットの表紙

日本大学理工学部の本年度の工学祭は11月1～3日に開催された。今年度のテーマは「科学および技術と人間性」学内開放の3日間は連日満員の見学者だった。パンフレットの表紙の裏には、つぎのようなル・コルビジュエのことが刷りこまれていた。

機械はチャンピオンであり、新時代はここにある。

さあ、人間に奉仕するすぐれた、健康な計画をたてようではないか。

「中世伽監が白かった時（かってそうであった）、ヨーロッパは技術の……絶対命令的衝動の下に手仕事を組織化したのだった。

ふたたび春のさきぶれの風が立って、文明の終りの色あせた雪の上に息ふきかけた。

われわれは世界を建設にかかる——どんな世界をうちたてるのだろうか？ 計画はなにか。新しい季節を建設せずに放っておくのだろうか。

「青年はどこへ行くことができるのだろうか？」
—Le Corbusier

日本大学理工学部



桜工第42号

■昭和40年12月15日印刷／20日発行

■編集兼発行人／高木政司

■発行／日本大学工科校友会（東京都千代田区神田駿河台1の8／電話東京293—3251内線206／振替・東京162710）

■印刷／本文・鉄鋼新聞社印刷部、
グラフィア・和喜グラフィア

■会誌委員／委員長菅原要（建築）
／土木・下青木秀吉，篠本勝美／建築・安藤三郎／機械・大内順，青木顕一郎／電気・篠原博，高橋信夫／化学・大塚喜作，大内藩／経工・清水潤／薬学・山内盛